

奈良先端科学技術大学院大学

株式会社国際電気通信基礎技術研究所、東京科学大学、情報・システム研究機構国立情報学研究所、物質・材料研究機構、奈良県立医科大学、産業技術総合研究所、情報通信研究機構、カリフォルニア大学デービス校、スイス連邦工科大学チューリヒ校、ストラズブル大学、ボン大学、フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン＝ニュルンベルク、ガジャマダ大学、アイビービー大学、インドネシア大学、インドネシア国立研究革新庁、マラヤ大学、マレーシアサイエンス大学、トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学、ハノイ科学技術大学、ベトナム科学技術院バイオテクノロジー研究所、ベトナム科学技術院物質科学研究所、フィリピン大学ディリマン校、アテネオ・デ・マニラ大学



研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学

10年後の大学ビジョン

情報・バイオ・物質が融合した自律的な研究強化・社会実装AIシステムの構築と、東南アジアとの連携強化により、生産年齢人口減少社会の自動化・省力化技術とこれを担う博士人材育成で社会変革を先導する大学院大学

戦略1

東南アジア諸国からの戦略的な人材リクルートと育成

- ・ 高いポテンシャルを持つ多様な研究人材を組織的に受入れ
- ・ 海外連携大学・研究機関と協働した国際化教育による人材育成
- ・ 母国や我国の産官学セクターへの人材供給を通じた関係強化

戦略2

自律的研究強化・社会実装システム(ARWIT)の構築と共有

- ・ データ共有とAI技術を活用した自律的バイオシーズの創出システム
- ・ マテリアルインフォマティクスを活用した自律的物質合成システム
- ・ 高度な情報セキュリティを介した企業とのデータ共有による社会実装

研究力の強化に向けた課題

- ・ 国際的な人材獲得競争に打ち勝つ力
- ・ 研究成果の社会実装と収益化

東南アジア
連携大学
(5カ国 15校)



NAIST-ARWIT System

(Automated Research Workflow and Industrial Translation)
バイオサイエンス、物質創成科学、情報科学を
積層させた研究自動化・社会実装システム



奈良先端大

奈良先端大が持つ強み

- ・ 持続可能な社会の実現に必須な先端科学3分野に特化した研究者の厚み
- ・ 東南アジアのトップ大学群と連携した留学生の受入れと人材輩出の実績
- ・ 若手研究者の機動的な登用と育成システム
- ・ 小規模大学ならではの効率的かつ迅速な改革力

本戦略に期待される効果

- ・ 不可避な人口減少下における研究人材の確保と社会への輩出
- ・ 東南アジア諸国とのパートナーシップの強化
- ・ AIや自動化を活用した自律的研究力強化システムの樹立
- ・ 出口戦略に基づく研究強化とデータの収益化による経営の安定化

強化する機能

- ① 強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能
- ② 地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能



大学ビジョン

情報・バイオ・物質が融合した自律的な研究強化・社会実装AIシステムの構築と、東南アジアとの連携強化により、生産年齢人口減少社会の自動化・省力化技術とこれを担う博士人材育成で社会変革を先導する大学院大学を目指す。



強みや特色

奈良先端大の強みとして、(1)先端科学3分野への特化と研究者の厚み、(2)留学生の獲得と国際人材輩出の実績、(3)若手研究者の機動的な登用と育成、(4)効率的かつ迅速な改革力が挙げられる。また、国立大学法人の第3期中期計画の評価において、研究と教育の両方で「中期目標を上回る顕著な成果」という最上位の評定を得ている(全国で2校のみ)。



研究力の向上戦略

今後の研究力強化と自立的な経営への課題は、国際的な人材獲得競争に打ち勝つ力と、先端研究の社会実装を通じた収益化である。これを達成するため、(1)東南アジア諸国からの優秀な留学生や研究者のリクルートと育成により研究人材の供給機能を強化し、(2)基礎研究のシーズを社会実装につなげる自律的な研究力強化・収益化システムを構築する。